

## 熊本県立大学法人化までの経緯

年 月	項 目
平成 14 年 2 月	「熊本県行政システム改革プラン」中、「行政の守備範囲の見直し及び民間委託の推進等」の項目に、「県立大学については、独立行政法人化も視野に入れて将来のあり方を検討します。」と記載
平成 14 年 9 月	有識者 9 名からなる「熊本県立大学あり方検討会議」(座長：稲垣精一肥後銀行顧問) 発足
平成 15 年 10 月	「熊本県立大学あり方検討会議」報告書を知事へ提出 地方独立行政法人制度の導入と専門職大学院の設置検討を提言
平成 16 年 5 月	上記報告を受けて、県としての考え方をまとめた「熊本県立大学改革基本方針(案)」のパブリック・コメントを実施 看護系大学院設置に関する意見のほか、特に意見なし
平成 16 年 7 月	パブリック・コメントを経て、「熊本県立大学改革基本方針」を策定 平成 18 年 4 月の公立大学法人への移行を明記
平成 16 年 9 月	県、県立大学及び外部有識者からなる「熊本県立大学改革推進委員会」(委員長：県総務部長、13 名) 発足 法人の具体的な制度設計及び中期目標・中期計画について検討開始
平成 17 年 11 月	蓑茂理事長予定者(現東京農大副学長)を委員長に迎え、改革推進委員会を「公立大学法人熊本県立大学設立準備委員会」に改組
平成 18 年 3 月	設立準備委員会第 3 回会議を開催し、中期目標・中期計画原案を決定
平成 18 年 4 月	法人発足